

令和2年度牛久市予算(案)の概要

牛 久 市

令和2年度当初予算の概要について、以下の通りお知らせいたします。

一般会計270億7千万円、「復活」と「挑戦」、そして「飛躍」へ

牛久市では、令和2年度を目標年次とする「後期基本計画」に基づき「笑顔があふれやすさのあるまち うしく」を将来像とし、ひたち野うしく中学校、幼稚園、認可保育園の整備など、子育て環境充実のための施策を積極的に展開し、本年4月には、ひたち野うしく中学校が開校を迎える運びとなりました。ソフト面では、出産・子育て・教育の更なる充実に努めるとともに、乳幼児から高齢者まですべての人が生涯活躍できるよう健康サービスの充実に努めています。

令和2年度予算編成にあたっては、エスカード牛久ビルからイズミヤが撤退し、オエノンホールディングスが牛久シャトー内の飲食、物販事業から撤退するという、本市経済に大きな打撃を与える重大な問題に対し、迅速かつ確実な対応が急務となっている厳しい状況を全職員が共有したうえで、「エスカード牛久ビルを復活させ、中心市街地を活性化させること」、「牛久シャトーを、市を代表する観光拠点・文化拠点として再創成すること」を最重点課題として取り組んできました。

平成29年度以降掲げてきた「生涯活躍のまち」、「安心した出産と、子育ての負担軽減」、「地域経済の活性化・経済循環」、「観光資源を活用した活性化」、「再び転入超過の波を呼び込むまちづくり」の5つの柱については、それぞれの取組の効果検証を行い、引き続き取組を進めることとし、併せて、「再び人口増の街に」、「子育て環境充実の街に」、「牛久沼の観光資源を活用した観光の街に」、「高齢で車の免許証が無くても安心の街に」、「安全安心の充実した街に」、「生活道路が便利な街に」、「奥野の義務教育学校化へ」、「高齢者が元気で安心して暮らせる街に」の8つの新たな「挑戦」についても、牛久市のさらなる「飛躍」に向け、各事業の必要性、緊急性、費用対効果を検証したうえで、限りある財源を効果的、効率的に配分することにより事業採択を行いました。

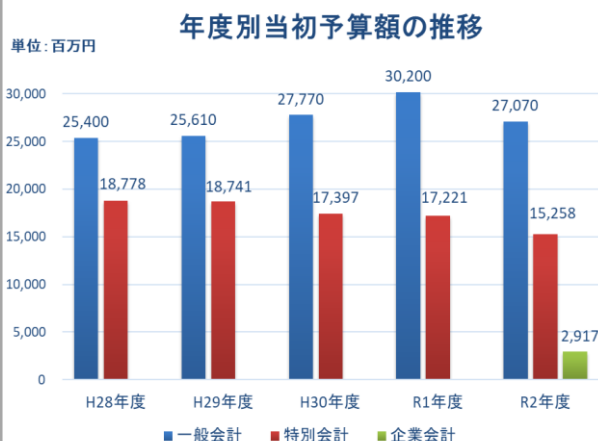
全国的に人口減少の波が押し寄せる中、牛久市においても令和元年度は人口が減少に転じたものの、歳入の根幹となる市税は落ち込むことなく微増を保った他、地方消費税交付金・地方交付税の増収、事業に伴う国・県支出金などにより財源を確保しました。

歳出面では、ひたち野うしく中学校の建設を終えたことにより、予算規模は大きく減少しましたが、社会保障関係経費である扶助費や人件費などいわゆる義務的経費は増加の一途をたどっています。こうした中で、牛久シャトーとエスカード牛久ビルの「復活」に向けた取組をはじめ、人口増加に向けた取組である北部地区の宅地開発調査、住井すゑ記念館の整備など観光資源を活用した取組、コミュニティバス運行やデマンド型公共交通サービスなど移動手段多様化への取組など、「復活」と「挑戦」に向けた予算編成となりました。

牛 久 市 各 会 計 予 算

(単位：千円、%)

会 計 名	令和2年度		令和元年度		比較	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増減額	増減率
一 般 会 計	27,070,000	59.8	30,200,000	63.7	△ 3,130,000	△ 10.4
国 民 健 康 保 険 事 業	7,909,000	17.5	8,198,000	17.3	△ 289,000	△ 3.5
公 共 下 水 道 事 業	0	0.0	2,192,000	4.6	△ 2,192,000	皆減
青 果 市 場 事 業	18,000	0.0	16,000	0.0	2,000	12.5
小 規 模 水 道 事 業	0	0.0	20	0.0	△ 20	皆減
介 護 保 険 事 業	5,452,000	12.1	5,091,000	10.8	361,000	7.1
後 期 高 齢 者 医 療 事 業	1,879,000	4.2	1,724,000	3.6	155,000	9.0
特 別 会 計 合 計	15,258,000	33.8	17,221,020	36.3	△ 1,963,020	△ 11.4
下 水 道 事 業	2,917,190	6.4	0	0.0	2,917,190	皆増
企 業 会 計 合 計	2,917,190	6.4	0	0.0	2,917,190	皆増
合 計	45,245,190	100.0	47,421,020	100.0	△ 2,175,830	△ 4.6



一般会計は、牛久シャトーとエスカード牛久ビルの復活と、時代に打ち勝つイノベーション(変革)への積極的な取組を計上しておりますが、ひたち野うしく中学校建設完了の影響により、前年度比10.4%、31億30百万円減の270億70百万円となっています。

特別会計では、国民健康保険事業については、減額となったものの、高齢化の影響から、後期高齢者医療事業・介護保険事業特別会計においては、引き続き増額となっています。また、公共下水道事業特別会計が企業会計へ移行し、その影響により特別会計総額で、前年度比11.4%、19億63百万円減の152億58百万円となりました。

令和2年度新規事業・特徴的事業一覧

令和2年度 新規又は特徴的な事業としては…

議会・総務

- ・議会へのタブレット導入【新規】
- ・会計年度任用職員制度の開始【新規】
- ・未利用地の売却
- ・オリンピック聖火リレーの実施【新規】
- ・行政区集会所建設等への補助
- ・デマンド型公共交通サービスの実施【新規】
- ・コミュニティバスひたち野うしく新ルート開設【新規】
- ・重点地域への防犯カメラ設置
- ・国勢調査の実施【新規】

民生

- ・戦没者追悼式の開催
- ・地区社協活動の支援、拠点確保
- ・成年後見制度利用の促進
- ・民間保育園の運営支援
- ・民間保育園の建設支援

衛生

- ・保健センター空調更新【新規】
- ・ロタウイルスワクチンの全額助成(10月～)【新規】
- ・風しん抗体検査と予防接種の実施
- ・支援を要する親子への教室の充実
- ・サンデーファミリークラスの開催【新規】

農林水産・商工

- ・小菊の品質向上への支援【新規】
- ・JA新規部会の出荷用梱包箱への補助【新規】
- ・市内企業の投資への奨励金
- ・商工会による経営発達支援事業への助成
- ・牛久シャトーの利活用

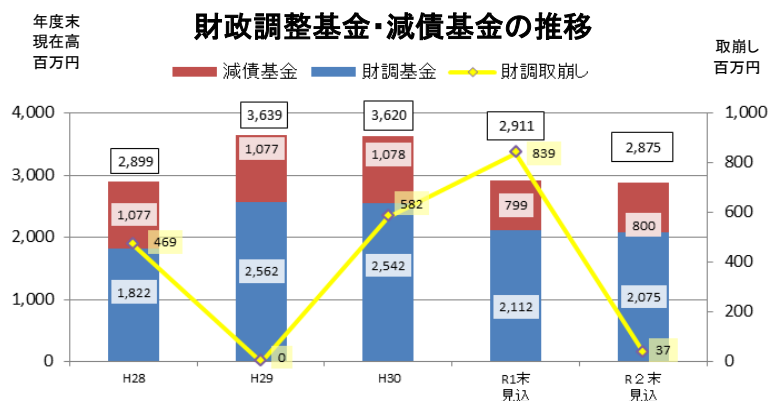
土木・消防

- ・生活道路(U字溝含む)の修繕、長寿命化
- ・通学路等整備
- ・空家対策の実施
- ・北部地区市街化調整区域の宅地開発検討
- ・牛久駅西口歩道橋改修実施設計
- ・エスカード牛久ビル利活用及び4階改修実施設計
- ・木造市営住宅再構築実施設計
- ・防災士資格取得への補助【新規】
- ・国土強靱化計画の策定【新規】

教育

- ・おくの義務教育学校の開校
- ・スクールアシスタントの配置
- ・日本遺産認定への取り組み
- ・住井すゑ記念館の整備
- ・コミュニティスクールにおける活動の推進
- ・中央生涯学習センター文化ホール改修実施設計

今後見込まれる大型投資事業や公共施設の長寿命化を見据えた現金（基金残高）の確保と、
借金（市債残高）のバランスを考えた財政運営を展開



※R1末見込については、3月補正後の数値としています。

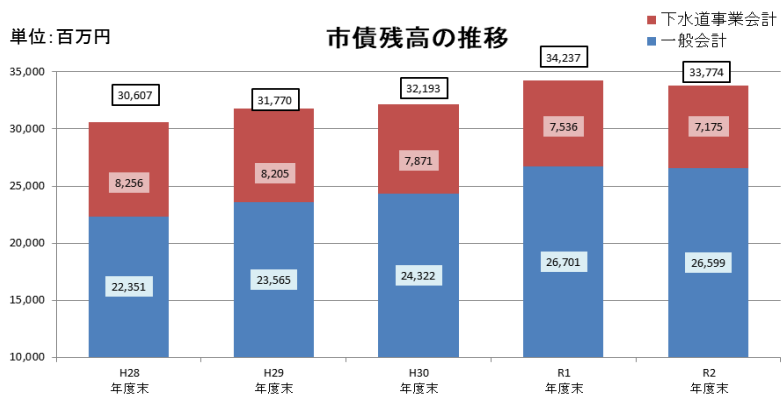
令和2年度当初予算は、財政調整基金37百万円（前年度7億14百万円、6億77百万円の減）を繰り入れております。ひたち野うしく中学校建設等の大規模事業の完了に伴い大きく減少しました。

その結果、一般財源基金（財政調整基金、減債基金）残高は28億75百万円となっております。

この予算を執行した後の、令和2年度末での基金残高見込は以下の通りです。

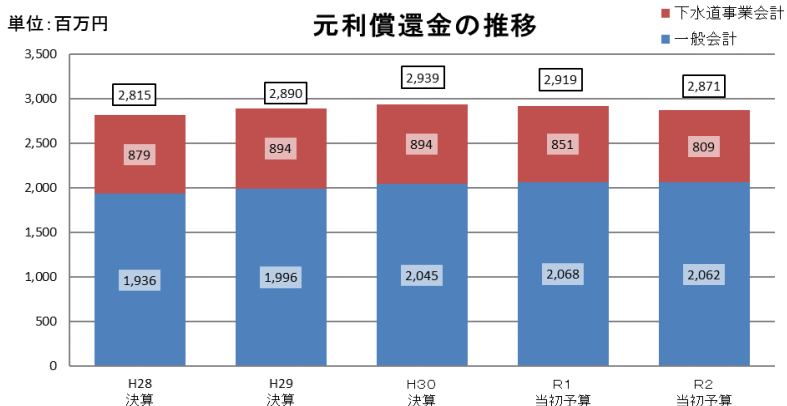
（単位：千円）

基金名		令和2年度末 現在高見込
財政調整基金		2,075,580
減債基金		799,780
一般財源基金 計		2,875,360
その他特目基金		1,785,653
一般会計の基金 計		4,661,013
特別会計の基金 計		1,462,388
企業会計の基金 計		95,336
合 計		6,218,737



※R1末見込については、3月補正後の数値としています。

※見込みについては、予算額全額を現年での借入れとして算出しています。



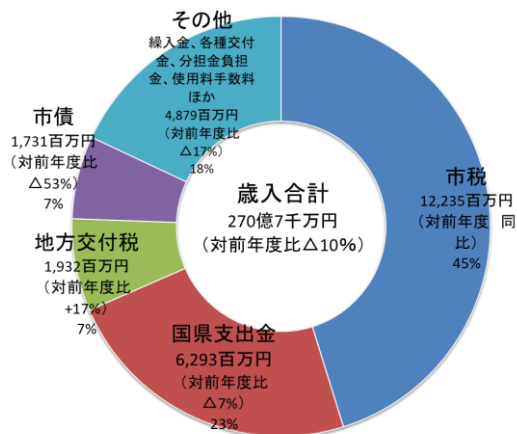
市債残高については、特別会計もあわせた市全体での管理とするとともに、投資的事業に充てる建設事業債も、普通交付税の財源不足に代えられる臨時財政対策債も、どちらも借金として捉えた管理を行っております。

管理にあたっては、残高だけでなく、各年度の償還額を含め、総合的に行うとともに、基金残高とのバランスを考慮した上で、必要に応じて市債の借り入れをしております。

また、市債発行にあたっては、普通交付税算出において基準財政需要額に算入される事業債を優先的に計上することで、将来的な財源の確保を図っております。

令和2年度においては、25億19百万円の元金償還額に対し、市債20億55百万円の借り入れとしており、市債残高は337億74百万円（前年度比4億63百万円の減）となると見込んでいます。

令和2年度一般会計歳入予算の状況

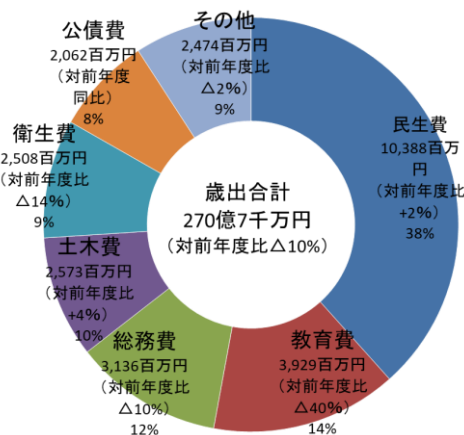


歳入予算の内訳をみると、市税は、個人市民税の増額などを見込み、対前年度同比、23百万円の増額となりました。

国県支出金は、ひたち野うしく中学校、清掃工場延命化等の大型投資事業の完了に伴い、対前年度比7%、約5億10百万円の減額、市債についても大型投資事業の完了に伴い、対前年度比53%、約19億50百万円の減額となりました。

その他、消費税率の引き上げに伴う、地方消費税交付金の増収が見込まれるほか、繰入金は、国民健康保険事業特別会計繰入金が増となったものの、大型事業完了に伴い財政調整基金からの取崩しが減ったことから、減額となりました。

令和2年度一般会計目的別歳出予算の状況



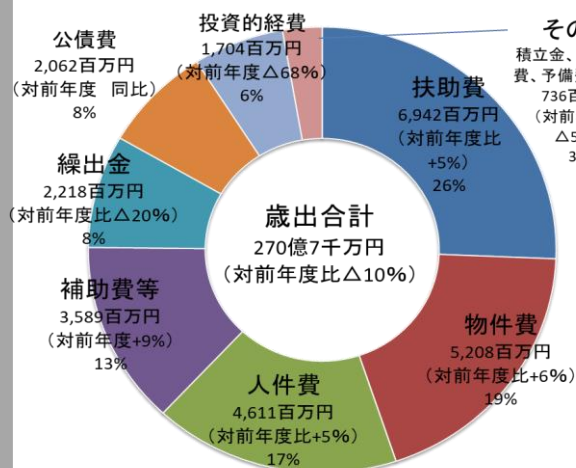
目的別歳出予算の内訳を見ると、歳出経費の3分の1を占める民生費は、民間保育園運営負担金、介護保険事業特別会計繰出金等の増額により対前年度比2%、2億47百万円の増額となりました。

教育費は、ひたち野うしく中学校の建設及び開校準備、牛久運動公園体育館空調改修等の完了により対前年度比40%、約26億41百万円の減額となりました。

総務費は、プレミアム付き商品券事業終了に伴い、対前年度比10%、3億55百万円の減額となりました。

土木費は、北部地区宅地開発検討事業等の増額に伴い、対前年度比4%、91百万円の増額となりました。

令和2年度一般会計性質別歳出予算の状況



財政構造を分析するために、一般会計の歳出をその経済的性質を基準として分類したものが左の性質別予算です。

年々増加する社会保障関係経費について、扶助費は、民間保育園運営負担金の増額等により対前年度比5%、3億33百万円の増額となりました。

物件費は、牛久シャトー賃借料の増額等により対前年度比6%、3億13百万円の増額となりました。

人件費は、会計年度任用職員期末手当の増により対前年度比5%、2億20百万円の増額となりました。

一方、投資的経費は、ひたち野うしく中学校建設、清掃工場延命化等の大型投資事業の完了により、対前年度比68%、37億1百万円の減額となりました。

一 般 会 計 歳 入 予 算

(単位：千円、%)

款		令和2年度		令和元年度		比較	
		当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増減	伸率
1 市	税	12,235,155	45.2	12,211,718	41.3	23,437	0.2
2 地 方 譲 与	税	266,652	1.0	221,226	0.9	45,426	20.5
3 利 子 割 交 付 金		12,163	0.1	16,482	0.1	△ 4,319	△ 26.2
4 配 当 割 交 付 金		52,821	0.2	58,896	0.2	△ 6,075	△ 10.3
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金		28,981	0.1	53,087	0.2	△ 24,106	△ 45.4
6 地 方 消 費 税 交 付 金		1,692,417	6.3	1,427,572	4.6	264,845	18.6
7 ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金		12,891	0.0	13,429	0.1	△ 538	△ 4.0
8 環 境 性 能 割 交 付 金		29,605	0.1	68,376	0.2	△ 38,771	△ 56.7
9 地 方 特 例 交 付 金		85,837	0.3	81,002	0.2	4,835	6.0
10 地 方 交 付 税		1,931,566	7.1	1,644,513	5.9	287,053	17.5
	普 通 交 付 税	1,654,714	6.1	1,440,346	4.8	214,368	14.9
	特 別 交 付 税	202,558	0.7	202,558	1.0	0	0.0
	震 災 復 興 特 別 交 付 税	74,294	0.3	1,609	0.1	72,685	4,517.4
11 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金		16,000	0.1	16,000	0.1	0	0.0
12 分 担 金 及 び 負 担 金		255,771	0.9	444,771	1.6	△ 189,000	△ 42.5
13 使 用 料 及 び 手 数 料		345,842	1.3	357,814	1.2	△ 11,972	△ 3.3
14 国 庫 支 出 金		4,220,131	15.6	4,891,770	14.1	△ 671,639	△ 13.7
15 県 支 出 金		2,073,198	7.7	1,911,070	6.8	162,128	8.5
16 財 産 収 入		74,015	0.3	81,877	0.4	△ 7,862	△ 9.6
17 寄 附 金		60,000	0.2	60,000	0.2	0	0.0
18 繰 入 金		654,237	2.4	1,376,654	5.0	△ 722,417	△ 52.5
	他 会 計 繰 入 金	202,673	0.7	1,042	0.1	201,631	19,350.4
	財 政 調 整 基 金 繰 入 金	36,645	0.1	713,799	3.0	△ 677,154	△ 94.9
	減 債 基 金 繰 入 金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	そ の 他 特 目 基 金 繰 入 金	414,919	1.5	661,813	1.9	△ 246,894	△ 37.3
19 繰 越 金		200,000	0.7	350,000	3.7	△ 150,000	△ 42.9
20 諸 収 入		1,092,118	4.0	1,232,943	3.5	△ 140,825	△ 11.4
21 市 債		1,730,600	6.4	3,680,800	9.7	△ 1,950,200	△ 53.0
	臨 時 財 政 対 策 債	947,500	3.5	1,016,600	4.2	△ 69,100	△ 6.8
	そ の 他	783,100	2.9	2,664,200	5.5	△ 1,881,100	△ 70.6
歳 入 合 計		27,070,000	100.0	30,200,000	100.0	△ 3,130,000	△ 10.4

○歳入予算の主な増減（百万円）

- 【市税】 市民税個人分：53億69百万円（1億34百万円増）、固定資産税：49億51百万円（76百万円減）
- 【分担金及び負担金】 保育料：1億95百万円（1億91百万円減）
- 【国庫支出金】 児童保護費等交付金：7億90百万円（2億42百万円増）、幼稚園費国庫負担金：1億89百万円（1億47百万円増）、公立学校施設整備費国庫負担金：0円（6億28百万円減）、二酸化炭素排出抑制対策事業交付金（先進的設備導入推進事業）：0円（2億90百万円減）、公立学校整備事業費補助金：0円（91百万円減）、社会資本整備総合交付金：3億59百万円（58百万円減）
- 【県支出金】 児童保護費等交付金：3億95百万円（1億21百万円増）、幼稚園費県負担金：1億26百万円（75百万円増）、国勢調査委託金：38百万円（皆増）、強い農業づくり交付金：0円（48百万円減）、保育園建設補助金：34百万円（46百万円減）、第74回国民体育大会運営費補助金：0円（34百万円減）
- 【繰入金】 国民健康保険事業特別会計繰入金：2億2百万円（皆増）、財調整基金繰入金：37百万円（6億77百万円減）、国民体育大会運営基金繰入金：0円（1億20百万円減）、土地開発基金繰入金：0円（88百万円減）、企業誘致事業等推進基金繰入金：3億36百万円（53百万円減）
- 【諸収入】 牛久シャトー施設賃貸料：55百万円（皆増）、牛久都市開発貸付金元利収入：11百万円（11百万円増）、プレミアム付商品券売捌料：0円（2億40百万円減）
- 【市債】 保健センター改修事業債：1億41百万円（1億29百万円増）、緑地整備事業債：80百万円（皆増）、エスカード牛久ビル改修事業債：45百万円（皆増）、中学校施設整備事業債：0円（15億92百万円減）、清掃工場整備事業債：50百万円（3億66百万円減）、リフレ改修事業債：0円（1億68百万円減）

一般会計歳出予算（目的別内訳）

（単位：千円，％）

款	令和２年度		令和元年度		比較	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増減	伸率
1 議会費	240,945	0.9	241,464	0.8	△ 519	△ 0.2
2 総務費	3,135,971	11.6	3,491,053	11.6	△ 355,082	△ 10.2
3 民生費	10,387,936	38.4	10,140,624	33.6	247,312	2.4
4 衛生費	2,507,433	9.3	2,921,217	9.7	△ 413,784	△ 14.2
5 労働費	951	0.0	881	0.0	70	7.9
6 農林水産業費	191,271	0.7	207,000	0.7	△ 15,729	△ 7.6
7 商工費	921,649	3.4	983,782	3.3	△ 62,133	△ 6.3
8 土木費	2,573,283	9.5	2,482,172	8.2	91,111	3.7
9 消防費	1,071,555	3.9	1,048,574	3.5	22,981	2.2
10 教育費	3,928,775	14.5	6,569,455	21.8	△ 2,640,680	△ 40.2
11 災害復旧費	1	0.0	1	0.0	0	0.0
12 公債費	2,062,198	7.6	2,068,167	6.7	△ 5,969	△ 0.3
13 諸支出金	340	0.0	610	0.0	△ 270	△ 44.3
14 予備費	47,692	0.2	45,000	0.1	2,692	6.0
歳出合計	27,070,000	100.0	30,200,000	100.0	△ 3,130,000	△ 10.4

○目的別予算の主な増減（百万円）

- 【総務費】 個人番号カード運用：64百万円（46百万円増）、デマンド型公共交通サービス：30百万円（皆増）、国勢調査：38百万円（皆増）、プレミアム付き商品券事業：0円（3億200万円減）、リフレビル空調改修：0円（1億87百万円減）
- 【民生費】 民間保育園運営負担金：18億68百万円（1億61百万円増）、介護保険事業特別会計繰出金：8億66百万円（1億6百万円増）、保育無償化：68百万円（皆増）、後期高齢者医療特別会計繰出金：9億31百万円（59百万円増）、国民健康保険事業特別会計繰出金：4億19百万円（1億67百万円減）、児童扶養手当支給：3億7百万円（46百万円減）、民間保育園建設補助：52百万円（38百万円減）
- 【衛生費】 保健センター空調改修：1億57百万円（1億41百万円増）、龍ヶ崎地方衛生組合負担金：1億14百万円（72百万円増）、清掃工場維持管理：4億32百万円（53百万円増）、大人の風しん検査等：20百万円（14百万円増）、清掃工場延命化：0円（7億35百万円減）
- 【農林水産業費】 土地改良区運営支援：30百万円（11百万円増）強い農業づくり交付金：0円（48百万円減）
- 【商工費】 牛久シャトル利活用：69百万円（皆増）、企業誘致事業等推進基金積立：2億44百万円（92百万円減）、企業誘致奨励報償金：3億36百万円（53百万円減）
- 【土木費】 エスカード牛久ビル利活用：2億15百万円（14百万円増）、北部地域宅地開発検討：63百万円（45百万円増）、市営住宅建設：47百万円（39百万円増）、市道23号線整備：1億9百万円（1億48百万円減）、道路整備：4億33百万円（1億42百万円増）
- 【教育費】 幼児教育無償化に伴う児童福祉扶助費：2億4百万円（2億4百万円増）、住井すゑ記念館公開活用：2億5百万円（1億90百万円増）、中央生涯学習センター改修：76百万円（49百万円増）、自校式学校給食：7億83百万円（39百万円増）、スクールアシスタント派遣：67百万円（25百万円増）、小中学校のICT環境管理：1億6百万円（19百万円増）、ひたち野うしく中学校建設・開校準備：0円（29億31百万円減）、運動公園体育館空調改修：0円（2億37百万円減）

一般会計歳出予算（性質別内訳）

（単位：千円、％）

区 分	令和2年度		令和元年度		比較	
	予 算 額	構成比	予 算 額	構成比	増減額	伸率
人 件 費	4,610,743	17.0	4,390,401	14.5	220,342	5.0
扶 助 費	6,942,224	25.6	6,609,438	21.9	332,786	5.0
公 債 費	2,062,188	7.6	2,068,157	6.8	△ 5,969	△ 0.3
義 務 的 経 費 の 計	13,615,155	50.2	13,067,996	43.3	547,159	4.2
物 件 費	5,208,304	19.2	4,895,222	16.1	313,082	6.4
維 持 補 修 費	352,934	1.3	308,079	1.0	44,855	14.6
補 助 費 等	3,588,542	13.3	3,290,817	10.9	297,725	9.0
（ 一 部 事 務 組 合 ）	1,093,813	4.0	1,007,255	3.3	86,558	8.6
（ そ の 他 ）	2,494,729	9.3	2,283,562	7.6	211,167	9.2
積 立 金	313,189	1.2	397,380	1.3	△ 84,191	△ 21.2
投 資 及 び 出 資 金	4,000	0.0	4,000	0.0	0	0.0
貸 付 金	18,000	0.1	18,000	0.1	0	0.0
繰 出 金	2,218,152	8.2	2,768,625	9.2	△ 550,473	△ 19.9
投 資 的 経 費	1,704,032	6.3	5,404,881	17.9	△ 3,700,849	△ 68.5
（ 補 助 事 業 ）	1,031,659	3.8	4,424,667	14.7	△ 3,393,008	△ 76.7
（ 単 独 事 業 ）	672,373	2.5	980,214	3.2	△ 307,841	△ 31.4
（ そ の 他 ）	0	0.0	0	0.0	0	0.0
予 備 費	47,692	0.2	45,000	0.2	2,692	6.0
歳 出 合 計	27,070,000	100.0	30,200,000	100.0	△ 3,130,000	△ 10.4

□性質別予算の主な増減（百万円）

- 【人件費】 会計年度任用職員期末手当：1億20百万円（皆増）、会計年度任用職員報酬：9億35百万円（皆増）、一般職給料：13億21百万円（30百万円増）、社会保険料：1億53百万円（23百万円増）、国勢調査：36百万円（皆増）、選挙（市議会議員・市長・参議院議員）：0円（24百万円減）、一般職非常勤職員報酬：0円（6億99百万円）
- 【扶助費】 民間保育園運営負担金：19億8百万円（1億34百万円増）、幼児教育・保育無償化：58百万円（皆増）、障害児給付費：2億88百万円（24百万円増）、児童扶養手当：3億円（47百万円減）、児童手当：13億26百万円（37百万円減）、生活保護費：9億55百万円（12百万円減）、
- 【物件費】 牛久シャトー管理賃借料：55百万円（皆増）、北部地域宅地開発検討：63百万円（45百万円増）、清掃工場施設点検整備：94百万円（33百万円増）、デマンド型公共交通サービス：30百万円（皆増）、選挙（市議会議員・市長・参議院議員）：0円（47百万円減）、プレミアム付商品券事業：0円（19百万円減）
- 【補助費等】 【一部事務組合】衛生組合負担金：1億14百万円（72百万円増）
【その他】下水道事業会計負担金：5億44百万円（皆増）、民間幼稚園運営負担金：2億43百万円（79百万円増）、個人番号カード発行関連事務負担金：50百万円（32百万円増）、プレミアム付商品券：0円（3億円減）、国体実行委員会負担金：0円（1億51百万円減）
- 【繰出金】 介護保険事業特別会計繰出金：8億66百万円（1億6百万円増）、後期高齢者医療事業特別会計繰出金：9億31百万円（59百万円増）、国民健康保険事業特別会計繰出金：4億19百万円（1億67百万円減）、公共下水道事業特別会計繰出金：0円（5億46百万円減）
- 【投資的経費（補助）】 住井すゑ記念館整備：1億80百万円（1億67百万円増）、エスカード牛久ビル改修：91百万円（皆増）、都市防災推進事業：1億22百万円（53百万円増）、ひたち野うしく中学校建設：0円（26億33百万円減）、清掃工場延命化：0円（7億35百万円減）、運動公園空調更新：0円（2億37百万円減）
- 【投資的経費（単独）】 保健センター空調更新：1億57百万円（1億43百万円増）、中央生涯学習センター改修：76百万円（49百万円増）、二小地区社協曳家：28百万円（皆増）、ひたち野うしく中学校開校準備：0円（2億37百万円減）、リフレ空調更新：0円（1億87百万円減）、エスカード牛久ビル床取得：0円（88百万円減）

市 税 の 状 況

(単位:千円,%)

区 分	令和2年度	令和元年度	比 較		備 考 ※内訳の金額については現年課税分
	当初予算額	当初予算額	増減額	伸 率	
市 民 税	5,826,924	5,725,068	101,856	1.8	個人 (2年度) 5,368,683 (元年度) 5,235,159 法人 (2年度) 458,241 (元年度) 489,909
固 定 資 産 税	4,952,967	5,029,329	△ 76,362	△ 1.5	土地 (2年度) 1,546,410 (元年度) 1,557,085 家屋 (2年度) 2,403,700 (元年度) 2,367,614 償却資産 (2年度) 936,850 (元年度) 1,033,479
軽 自 動 車 税	184,415	176,307	8,108	4.6	維持費の安価な軽自動車の購入者の増
市 た ば こ 税	468,108	479,447	△ 11,339	△ 2.4	たばこ売り上げの減少
特別土地保有税	1	1	0	0.0	
都 市 計 画 税	802,740	801,566	1,174	0.1	土地 (2年度) 352,900 (元年度) 355,948 家屋 (2年度) 439,677 (元年度) 434,964
合 計	12,235,155	12,211,718	23,437	0.2	

○市税の主な増減

【市民税】

個人市民税については、納税義務者数及び個人所得の増による増収を見込み、前年度比2.6%、約1億34百万円の増額となり、また法人市民税については、法人企業の減収を見込み、前年度比6.5%、約32百万円の減額となりました。全体では、前年度比1.8%、約1億2百万円の増額となりました。

【固定資産税】

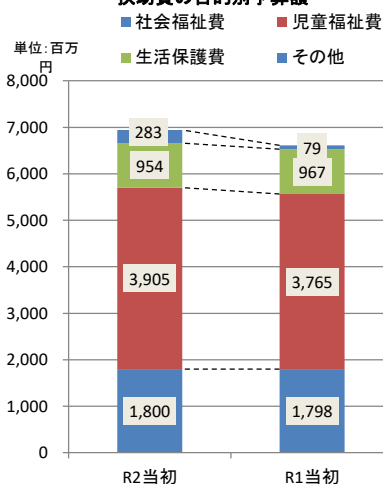
家屋については、新築件数のピークは過ぎたものの一定数の新築及び建替え等を見込み、前年度比1.5%、約36百万円の増額を見込み、償却資産については、企業の設備投資の減少に伴う減収を見込んだことにより、前年度比9.3%、約97百万円の減額とし、固定資産税全体として前年度比1.5%、約76百万円の減額となりました。

扶 助 費 の 状 況

(単位:千円,%)

区 分	令和2年度	令和元年度	比 較	
	当初予算額	当初予算額	増減額	伸 率
扶 助 費	6,942,224	6,609,438	332,786	5.0
うち社会福祉費	1,799,876	1,797,943	1,933	0.1
うち児童福祉費	3,904,639	3,765,670	138,969	3.7
うち生活保護費	954,579	967,019	△ 12,440	△ 1.3
そ の 他	283,130	78,806	204,324	259.3

扶助費の目的別予算額



扶助費は、被扶助者に対しその生活を維持するために支出される経費で、義務的経費の1つにあたります。

幼児保育の無償化や民間保育園運営支援等の子育て施策拡充により、児童福祉扶助費は前年度比3.7%、1億39百万円の増額となり、幼児教育の無償化により、その他の経費（幼稚園費）が前年度比259.3%、2億4百万円の増額となりました。扶助費は年々増加傾向にあり、前年度比5.0%、3億33百万円の増額となりました。

【児童福祉費】 民間保育園新規開設による入園者の増及び幼児保育の無償化により、民間保育園運営負担金の前年度比1億34百万円増。

【生活保護費】 介護扶助費の減により、生活保護費が前年度比12百万円減。

【その他】 幼児教育の無償化により、幼稚園費の児童福祉費が前年度比2億3百万円増。

《 牛久シャトー・エスカード牛久ビルの「復活」 》

※各事業説明欄中の赤字表記部分は、「一部新規」に区分した事業のうち、新たな取り組み部分です。

牛久シャトーを利活用する (68,669千円) (環境経済部)

継続

国指定重要文化財を含む牛久シャトーの保全保護を図りながら、観光資源として有効活用します。令和元年度にオエノンホールディングス株式会社との間で牛久シャトー全体の賃貸借契約を締結し、運営を行う牛久シャトー株式会社を設立しました。令和2年度は、牛久シャトーを創設した神谷傳兵衛の出身地である愛知県西尾市との交流を予定しております。

牛久シャトー株式会社では、令和2年度以降、レストランや売店のリニューアルオープンに加え直営で行う事業のひとつとして、明治から続くワイン醸造の系譜が途切れないよう早期に再開することを目指しています。

さまざまな取り組みのもと、市と新会社、そして牛久市民と三位一体で牛久シャトーを盛り上げ、「復活」を軌道にのせていきます。



写真：牛久シャトー

〈事業内訳〉	
施設借上料	55,440千円
牛久シャトー管理費	13,200千円
その他(事務費)	29千円
(財源)	
牛久シャトー施設賃貸料	55,440千円
牛久シャトー管理費負担金	13,200千円
一般財源	29千円

エスカード牛久ビルの利活用を図る (214,985千円) (建設部)

拡充

駅周辺のまちづくりを推進するうえで、エスカード牛久ビルは中核となる施設であり、牛久駅前の空洞化対策や中心市街地の賑わいづくりに取り組んでいます。

令和元年度は、旧イズミヤ所有床の取得や、公共的利活用に向けた基本構想・基本計画の策定を行った他、エスカード牛久ビルの2F・3Fフロアの改修に着手しました。

令和2年度は、これまでの取組みを一步進め、現在閉鎖している旧イズミヤ店舗部の一部リニューアルオープンを行うとともに、引き続きテナント誘致を進めます。

また、公共的利活用については、「集客力」、「多世代交流」、「学生の利用」を促進し、多くの方々に利用される公共施設の整備に向けた実施設計を行います。

牛久駅前賑わいづくりの拠点として、エスカード牛久ビルの「復活」を目指し、再整備事業に取り組んでいます。



写真：エスカード牛久ビル



買い物イメージ

〈事業内訳〉	
実施設計	91,300千円
エスカード牛久ビル管理費	121,082千円
その他(不動産鑑定委託等)	2,603千円
(財源)	
社会資本整備総合交付金(国)	41,085千円
貸付金元利収入	11,194千円
エスカード牛久ビル床賃貸料	26,830千円
エスカード牛久ビル改修事業債	45,100千円
一般財源	90,776千円

《人口減少時代に打ち勝つイノベーション(変革)への取り組み》

①再び人口増のまちにするための取組

都市計画を適正に管理する (81,318千円) (建設部)

継続

北部地区における宅地需要に応えるため、市街化区域に隣接する市街化調整区域での宅地開発の手法を検討しています。令和2年度は、該当地区における調査や基本計画の策定、地区計画素案の策定などを予定しています。また、5年に1度の都市計画基礎調査を実施します。

〈事業内訳〉	
北部地域宅地開発調査業務委託	62,700千円
都市計画マスタープラン改定業務委託	8,332千円
都市計画基礎調査	5,808千円
その他(会計年度任用職員報酬等)	4,478千円
〈財源〉	
都市計画基礎調査補助金(県)	2,904千円
地図売捌料	106千円
一般財源	78,308千円



写真:ひたち野うしく駅

②子育て環境充実のための取組

民間保育園の建設を支援する (51,675千円) (保健福祉部)

新規

待機児童の解消、さらなる子育て環境の充実を図るため、JR牛久駅東口に建設予定の保育園(予定定員60名)の建設への補助を実施します。

〈事業内訳〉	
賃貸物件保育所整備事業補助金	51,000千円
防犯対策強化整備事業補助金	675千円
〈財源〉	
保育所整備事業補助金(県)	34,000千円
保育所等整備交付金(国)	450千円
一般財源	17,225千円



民間保育園の運営を支援する (2,050,825千円) (保健福祉部)

継続

民間保育園への運営費負担金や、子ども子育て支援新制度に基づく地域子育て支援センターや病児・病後児保育、延長保育などの保育事業への補助金を計上しています。

平成30年度より、保育士等処遇改善補助金を市単独で新設し、保育士確保に取り組んでいます。

〈事業内訳〉	
民間保育園運営費負担金(市外保育含む)	1,867,989千円
地域子ども・子育て支援事業補助金 (地域子育て支援センター、病児・病後児保育、延長保育、一時預かり等)	119,827千円
保育士等処遇改善補助金	35,520千円
その他補助金(保育体制強化事業、乳児等保育事業等)	27,489千円
(財源)	
保育料	154,601千円
児童保護費等負担金(国)	789,829千円
児童保護費等負担金(県)	394,914千円
県補助金(上記以外)	97,664千円
財産運用収入	7,313千円
一般財源	606,504千円



写真:市内保育園活動の様子

大人の風しん抗体検査と予防接種を実施する (20,418千円) (保健福祉部)

継続

予防接種法の改正により、風しんの感染拡大防止のため、抗体保有率の低い世代の男性(1962年4月2日～1979年4月1日までに生まれた男性)を対象として、抗体検査を実施し、陰性の方に対しては、風しんの予防接種を行います。

期間は、令和元年度から令和3年度の3か年です。

〈事業内訳〉	
抗体検査(委託、補助金)	14,809千円
予防接種(委託、補助金)	3,841千円
印刷製本費・郵便料	1,768千円
(財源)	
風しん予防対策補助金(国)	8,276千円
一般財源	12,142千円



支援を要する親子へ相談を行う (2,005千円) (保健福祉部)

拡充

お子さんの成長に関して心配がある、子どもの対応に悩んでいるなど、子育てに悩む保護者とお子さんを対象に、相談や教室を開催します。お子さんの「ことば」、「こころ」、「からだ」の成長発達を促すことで虐待予防につなげていきます。親子教室の参加者が増えているため、今年度は開催回数を倍増します。

〈事業内訳〉	
教室心理士業務委託	1,950千円
その他(消耗品費等)	55千円
(財源)	
一般財源	2,005千円



妊婦・乳幼児とその保護者に対して、教室・相談を実施する （901千円） （保健福祉部）

一部
新規

妊婦や乳幼児のいる保護者が、妊娠出産育児に関して必要な知識、技術を得ることができるよう教室・相談を実施します。

令和2年度から、**父親への子育て支援の充実のため、にんぷつぶ教室をリニューアルし、より父親が参加しやすいサンデーファミリークラスとして開催**します。また、教室参加や訪問指導後、父親等のご家族が自宅で体験できるよう、**沐浴人形と妊婦ベストの貸出事業**を開始します。

〈事業内訳〉	
産前産後サポート訪問委託	175千円
消耗品費・備品購入費	616千円
郵便料	110千円
〈財源〉	
母子保健衛生費補助金(国)	287千円
一般財源	614千円



写真:にんぷつぶ教室の沐浴体験の様子

予防接種を実施する （185, 215千円） （保健福祉部）

拡充

予防接種法に基づいて各種予防接種を実施します。予防接種を実施することで、感染症の罹患と重症化を予防します。

ロタウイルスワクチン接種は、任意接種で半額助成を行っていましたが、令和2年10月から定期接種となるため、全額助成となります。

〈事業内訳〉	
予防接種業務委託	133, 915千円
医薬材料費(ワクチン購入等)	48, 697千円
その他(消耗品費・郵便料等)	2, 603千円
〈財源〉	
一般財源	185, 215千円



おくの義務教育学校で特色ある教育活動を推進する （7, 164千円） （教育委員会）

継続

児童生徒数の減少する奥野地区において、英語教育や国際理解教育、環境教育等の特色ある学校教育を推進しています。

〈事業内訳〉	
英語指導委託	3, 960千円
校章・校歌製作	2, 030千円
英語ボランティア謝金	486千円
その他(印刷製本費、英語研修費等)	688千円
〈財源〉	
一般財源	7, 164千円



英語授業の様子

スクールアシスタントを派遣する (66,917千円) (教育委員会)

拡充

児童生徒一人一人を大切にする教育を推進するために、地域の人的資源と教育力を生かしたスクールアシスタントを各学校に配置しています。

子供の発達を踏まえた指導の必要な児童生徒が増加している近年の傾向を鑑み、スクールアシスタントの対応時間の拡大に取り組めます。

〈事業内訳〉	
スクールアシスタント人件費等	66,917千円
〈財源〉	
理科教育設備整備等補助金(県)	614千円
一般財源	66,303千円



スクールアシスタントを活用した授業の様子

③観光資源を活用した活性化への取組

住井すゑ記念館を公開活用する (205,287千円) (教育委員会)

拡充

平成29年度に寄贈を受けた旧住井すゑ邸について、関連資料等を公開活用する展示室を備えた記念館を観光誘客施設として整備します。周辺の雲魚亭や河童の碑、牛久城址などとともに、牛久沼周辺の観光誘致を図り、地域活性化を進めてまいります。

〈事業内訳〉	
記念館整備工事	179,942千円
備品購入費	14,000千円
監理	11,000千円
その他管理経費	345千円
〈財源〉	
空家対策総合支援事業補助金(国)	68,502千円
住井すゑ記念館整備事業債	58,900千円
ふるさと基金繰入金	10,000千円
一般財源	67,885千円



写真: 旧住井すゑ邸内 抱樸舎

東京2020オリンピック聖火リレーを実施する (877千円) (経営企画部)

新規

東京2020オリンピック聖火リレーに牛久大仏と牛久シャトーを通るルートが選ばれました。事業を通して「新しいことに挑み続け、そして笑顔あふれるまち牛久」の魅力をPRしていきます。

〈事業内訳〉	
事務費(ボランティアスタッフ関連費用等)	877千円
〈財源〉	
一般財源	877千円



7/6(月)市内聖火リレーのコース

④生涯活躍のまちを支える取組

近隣市町村との広域交通網を構築する (9,000千円) (経営企画部)

継続

平成28年度から県、龍ヶ崎市、牛久市、稲敷市、阿見町、美浦村で連携し、稲敷エリア広域バスの実証実験を3ルートで行ってきました。

県、龍ヶ崎市、阿見町、美浦村は令和元年度から撤退し2ルート廃止となるなかで、牛久市は稲敷市と連携し、江戸崎～ひたち野うしく駅間のルート運行を継続しています。これによって、奥野地区の公共交通を引き続き確保します。

〈事業内訳〉	
県南地域公共交通確保対策協議会広域バス実証運行負担金	9,000千円
〈財源〉	
一般財源	9,000千円



写真: 稲敷エリア広域バス 江戸崎・牛久ルート

コミュニティバスの運行を管理する (69,936千円) (経営企画部)

一部
新規

交通空白不便地域の解消と高齢者等の交通手段の確保をするため、コミュニティバスかっぱ号を運行しており、利用状況の分析を行うとともに利用者の声を反映し、運行ルートや時刻の検討を行っています。

令和2年度は、**現在5台あるバスを6台に増やし、ひたち野うしく駅周辺へ新規ルートを開設**します。

〈事業内訳〉	
運行経費補償	69,836千円
かっぱ号バス停修繕料	100千円
〈財源〉	
一般財源	69,936千円



写真: 令和元年度購入のコミュニティバス

デマンド型公共交通サービスを実施する (30,000千円) (経営企画部)

新規

民間路線バスやコミュニティバス等の公共交通手段のない地域の方や、高齢などの理由で公共交通の利用が困難な方を対象に、自己負担額の少ない移送サービスを提供します。

令和2年10月のサービス開始を予定しています。

〈事業内訳〉	
デマンド型公共交通サービス事業委託	30,000千円
〈財源〉	
一般財源	30,000千円



成年後見制度の利用を促進する (28,877千円) (保健福祉部)

拡充

判断能力の低下した高齢者や障がい者が、成年後見制度等の利用により安心して生活できるように、相談や関係機関との連携、法人後見等の業務を行うとともに、中核機関としての利用促進事業を行います。

〈事業内訳〉	
成年後見制度利用促進中核機関運営委託	20,656千円
成年後見サポートセンター運営補助金	8,221千円
〈財源〉	
障害者地域生活支援事業補助金(国)	1,644千円
成年後見制度利用促進中核機関事業補助金(国)	50千円
障害者地域生活支援事業補助金(県)	822千円
一般財源	26,361千円



⑤安心安全の充実したまちへの取組

防犯カメラを設置する（2,336千円）（市民部）

継続

地域防犯力の向上を図るため、牛久警察署との協議を行い、平成28年度より、駅周辺や団地内などの市内主要交差点への街頭防犯カメラの整備を行っております。

更なる防犯力向上のため、令和2年度は引き続き、蛇喰交差点への設置を計画しています。

〈事業内訳〉	
防犯カメラ設置費	2,112千円
電気料等	224千円
〈財源〉	
一般財源	2,336千円



写真：栄町3丁目交差点防犯カメラ
(令和元年度設置)

自主防災組織を育成する（16,627千円）（市民部）

一部
新規

地域防災力向上のため、自主防災組織の結成に対し助成しており、令和2年度は女化・ねむの木台・大和田行政区で結成が予定されています。

また令和2年度より、**牛久市防災会内に防災士部会を立ち上げ、同時に防災士資格取得に対する補助を新設**します。

〈事業内訳〉	
自主防災組織補助金(結成・資機材整備等)	5,550千円
井戸設置	2,749千円
防災士ベスト・ヘルメット購入	1,985千円
防災士育成事業補助金	288千円
その他(会計年度任用職員報酬等)	6,055千円
〈財源〉	
コミュニティ事業助成金	2,000千円
一般財源	14,627千円



⑥生活道路が便利なまちへの取組

道路施設を維持補修する（127,999千円）
道路舗装を計画的に修繕する（98,000千円）（建設部）

継続

市民生活の基盤となる安全な道路施設を提供するため維持補修を行います。

また、道路の長寿命化とライフサイクルコスト削減のため、道路の舗装を計画的に修繕していきます。R2年度は、市道7号線・21号線・市道63号線・2990号線等の舗装修繕を予定しています。

〈事業内訳〉	
道路補修委託	110,000千円
維持補修工事	5,200千円
計画的修繕工事	98,000千円
その他(非常勤報酬、測量設計、補修材料、消耗品費等)	12,799千円
〈財源〉	
社会資本整備総合交付金(国)	20,000千円
市道整備事業債	70,200千円
一般財源	135,799千円



写真：市道2990号線(令和2年度予定箇所)

市道23号線(北側延伸第二工区)を改良舗装する（108,500千円）（建設部）

継続

市道23号線の計画北端となる田宮・中柏田線から南への整備となります。令和2年度は不動産鑑定、測量、用地取得、改良舗装工事及び家屋・工作物等の補償を実施します。

〈事業内訳〉	
不動産鑑定・測量等	2,700千円
改良舗装工事	70,000千円
土地購入費	6,800千円
補償金	29,000千円
〈財源〉	
社会資本整備総合交付金(国)	44,010千円
市道整備事業債	48,200千円
一般財源	16,290千円



写真：市道23号線(既開通箇所)

道路の雨水排水施設を整備する（21,500千円）
既存団地の雨水排水施設を整備する（25,500千円）（建設部）

拡充

排水未整備地区の雨水排水施設や老朽化した既存団地内の雨水排水施設を計画的に改修します。令和2年度は、市道1186号線、2264・2267号線、607号線、1112・1114号線等の整備を予定しております。

〈事業内訳〉	
測量	3,000千円
排水路整備工事	44,000千円
〈財源〉	
一般財源	47,000千円



写真：下根ヶ丘団地

令和2年度の各部の重要施策

第4次総合計画・都市計画マスタープラン・国土強靱化地域計画の策定 (17,367千円) (経営企画部・市民部・建設部)

一部
新規

現在の第3次総合計画及び都市計画マスタープランの計画期間が令和2年度で期間終了となるため、平成27年度に策定したまち・ひと・しごと総合戦略も併せて、新しい第4次総合計画及び都市計画マスタープランを策定します。令和元年度から2か年かけ、市民との協働により実施しています。併せて、**国土強靱化地域計画も策定**します。



写真：都市計画マスタープラン、第3次総合計画、まち・ひと・しごと総合戦略

〈事業内訳〉	
第4次総合計画策定	4,826千円
都市計画マスタープラン策定	8,541千円
国土強靱化地域計画策定	4,000千円
〈財源〉	
地図売捌料	106千円
一般財源	17,261千円

国勢調査を実施する (38,362千円) (経営企画部)

新規

令和2年度は、5年に1度の国勢調査が実施されます。統計法に定める、最も基本的で重要な基幹統計調査であり、実施100年の節目を迎えます。日本の国と地域の人口とその構造、世帯の実態を明らかにし、調査結果は各種行政施策をはじめ多方面に利用されます。



〈事業内訳〉	
事務費(調査関連費等)	38,362千円
〈財源〉	
国勢調査委託金(県)	38,362千円

行政区集会施設の整備や管理に対する助成をする (46,602千円) (市民部)

継続

地域コミュニティ活動の拠点となる集会施設の整備・管理にかかる経費の一部を助成することで、行政区の負担軽減と施設整備を促進し、円滑なコミュニティ活動の推進と充実を図ります。
令和2年度の主なものとして、ねむの木台、及び栄町行政区集会所の建設をはじめ、東端穴及び小坂行政区のトイレ改修工事等に対する補助金を予算計上しています。



写真：令和元年度建築の第2つつじが丘行政区集会所

〈事業内訳〉	
集会所新設補助金	34,127千円
土地購入費	7,282千円
集会所修理補助金	1,529千円
集会所解体事業補助金	1,441千円
その他(集会所借地料補助金等)	2,223千円
〈財源〉	
一般財源	46,602千円

令和2年度の各部の重要施策

個人番号カードの活用を支援する (5,784千円)
個人番号カードを運用する (64,254千円) (経営企画部・市民部)

拡充

マイナンバーカードについて、国が示す発行目標に向けた取り組みとして、出張申請による申請受付の拡大や窓口体制の強化を図り、交付率向上を目指します。
また発行とあわせてマイキーID設定をすることで、マイナンバーカードを利用したサービスを多くの市民が享受できるよう、支援を行います。



〈事業内訳〉	
個人番号カード発行関連事務負担金	50,417千円
会計年度任用職員人件費	18,916千円
その他(郵便料等)	705千円
(財源)	
個人番号カード交付事業費補助金(国)	50,417千円
個人番号カード交付事務費補助金(国)	13,837千円
個人番号カード利用環境整備費補助金(国)	5,784千円

保健センターを改修する (157,020千円) (保健福祉部)

新規

保健センターを常に良好な状態で利用できるように、老朽化した設備等をリニューアルします。本年度と来年度の2か年で、空調設備更新工事を行います。



写真:保健センター

〈事業内訳〉	
空調設備改修工事	152,900千円
空調設備改修工事監理業務	4,120千円
(財源)	
保健センター改修事業債	141,300千円
一般財源	15,720千円

農業や漁業団体等の活動を支援する (28,129千円) (環境経済部)

一部
新規

市内農業の活性化を図るため、関連団体や生産者への活動費等の補助を行います。令和2年度は、**青果物等出荷用梱包箱補助に新規対象団体としてそさい部会、ブロッコリー生産部会を加えます。**また、**銘柄産地指定を受けている小菊の生産者に対して品質向上支援補助を実施**します。



写真:銘柄産地指定の小菊

〈事業内訳〉	
青果物等出荷用梱包箱補助金	8,425千円
農業用資材購入補助金	6,400千円
農業次世代人材投資事業補助金	11,250千円
小菊品質向上支援補助金	700千円
その他(事務費・その他補助金等)	1,354千円
(財源)	
農業次世代人材投資事業補助金	11,270千円
諸収入(小麦製粉料、菜種搾油料)	199千円
一般財源	16,660千円

令和2年度の各部の重要施策

清掃工場を維持管理する (432, 497千円) (環境経済部)

継続

市内で発生する一般廃棄物の処理を行う清掃工場の処理能力の維持および機能保全を実施します。令和2年度は、施設の経年劣化に対応するため、令和元年度に続き、IDFインバータ更新工事・焼却炉耐火物更新工事等の維持補修工事や点検等を行います。

〈事業内訳〉	
光熱水費	180, 440千円
施設点検整備	93, 596千円
維持補修工事	96, 441千円
その他(維持管理経費等)	62, 020千円
(財源)	
諸収入	90千円
清掃工場整備事業債	49, 800千円
一般財源	382, 607千円



写真: クリーンセンター

企業を誘致し進出希望企業を審査する (580, 085千円) (環境経済部)

継続

産業基盤の充実を図るため、市内に事業所や工場を誘致するとともに、既進出企業の再投資を促します。新規進出企業や新たな設備投資をした企業へ奨励金の交付を行っており、令和2年度は、5社に対して交付する予定です。奨励金は、令和元年度に積立を行った企業誘致事業等推進基金からの繰入金を財源とします。

〈事業内訳〉	
報奨金(奨励金)	335, 930千円
企業誘致事業等推進基金積立金	243, 850千円
その他(事務費)	305千円
(財源)	
企業誘致事業等推進基金繰入金(R2奨励金用)	335, 930千円
企業誘致事業等推進基金利子	10千円
一般財源	244, 145千円



写真: 株式会社あじかんつくば工場(牛久市桂町)

牛久市商工会の運営を助成する (22, 086千円) (環境経済部)

一部新規

地域経済の活性化を図るため、牛久市商工会の運営に対し助成を行います。令和2年度は、各部会事業や商工会だより発行のほか、「うしくまちゼミ」や「牛久創業塾」、青年部の取り組みである「ピザとワインの街うしく推進事業」のピザフェスタ開催等に対して助成を行います。また、**国の認定を受けた経営発達支援計画に基づき実施される事業への助成**も行います。

〈事業内訳〉	
商工会補助金	22, 086千円
(財源)	
一般財源	22, 086千円



写真: 創業セミナー
(令和元年度の様子)

令和2年度の各部の重要施策

駅周辺環境を適正に管理する (34,012千円) (建設部)

拡充

駅周辺が快適・安全に利用できるよう、利便性の向上を図ります。牛久駅西口歩道橋について、令和元年度までに既存施設の調査、屋根の設置方法や形状を検討するための基本設計を実施しました。令和2年度は、令和3年度以降に予定している改修工事に向けて実施設計を行います。

〈事業内訳〉	
牛久駅西口歩道橋改修実施設計	18,095千円
清掃業務	10,205千円
維持補修工事	3,512千円
その他(光熱水費、消耗品費等)	2,200千円
(財源)	
使用料・手数料(行政財産使用料等)	533千円
社会資本整備総合交付金(国)	8,142千円
諸収入(指定管理者納入金等)	4,015千円
牛久駅西口歩道橋改修事業債	8,900千円
一般財源	12,422千円



写真: 牛久駅西口歩道橋

中央生涯学習センターの施設を改修する (76,081千円) (教育委員会)

拡充

築33年が経過した中央生涯学習センター文化ホールを大規模改修します。令和2年度は前年度から引き続き実施設計と昇降機の更新等を行います。

〈事業内訳〉	
実施設計	40,810千円
施設整備工事(昇降機更新・蓄電池修繕)	35,189千円
普通旅費	82千円
(財源)	
生涯学習センター改修事業債	63,900千円
一般財源	12,181千円



写真: 中央生涯学習センター文化ホール

コミュニティスクールを運用する (5,614千円)
地域学校協働活動を推進する (2,221千円) (教育委員会)

拡充

学校と地域住民等が力を合わせて、地域とともにある学校づくりへの転換を図るため、平成31年4月より全小中学校でコミュニティスクール(学校運営協議会制度)を導入しました。

令和2年度は新設のひたち野うしく中学校に導入するとともに、各学校や地域に合わせた特色ある教育活動を展開していきます。

〈事業内訳〉	
学校運営協議会委員報酬	2,520千円
社会教育指導員報酬	2,288千円
地域学校協働活動推進員等謝礼	1,744千円
その他(事務費等)	1,283千円
(財源)	
一般財源	7,835千円



令和2年度特別会計予算

国民健康保険事業特別会計

(単位:千円)

区分	款 名 称	令和2年度 予 算 額 A	令和元年度 予 算 額 B	比 較		内 容
				金 額 A-B=C	率 C/B %	
歳入	01 国民健康保険税	1,578,735	1,653,188	△ 74,453	△ 4.5	・一般被保険者分 1,577,140 ・退職被保険者分 2,053
	02 使用料及び手数料	1,200	1,000	200	20.0	・督促手数料 1,200
	03 国庫支出金	6,106	5,170	936	超増	・総務費国庫補助金 6105 ・災害臨時特例補助金 1
	04 県支出金	5,844,233	5,881,424	△ 37,191	△ 0.6	・保険給付費等交付金(普通交付金) 5,724,142 ・保険給付費等交付金(特別交付金) 120,091
	05 繰入金	419,493	586,415	△ 166,922	△ 28.5	・一般会計繰入金 419,492 ・国民健康保険支払準備基金繰入金 1
	06 繰越金	1	1	0	0.0	・前年度繰越金 1
	07 諸収入	59,232	70,802	△ 11,570	△ 16.3	・延滞金 41,100 ・第三者納付金 7,030 ・特定健診・特定保健指導一部負担金 6,620
	歳入合計	7,909,000	8,198,000	△ 289,000	△ 3.5	
歳出	01 総務費	106,264	92,794	13,470	14.5	・職員給与費・診療報酬明細書点検事務、被保険者証交付事務、国民健康保険税賦課徴収事務等
	02 保険給付費	5,749,163	5,796,526	△ 47,363	△ 0.8	・一般被保険者給付費 5,700,901 ・退職被保険者給付費 6,281 ・出産育児一時金 18,900 ・葬祭費 5,500
	03 国民健康保険事業費納付金	1,748,668	2,211,312	△ 462,644	△ 20.9	・医療給付費分 1,083,029 ・後期高齢者支援金等分 500,772 ・介護納付金分 164,867
	04 保健事業費	83,704	76,886	6,818	8.9	・特定健診・特定保健指導費 78,359 ・保健衛生普及費 5,345
	05 諸支出金	211,659	10,813	200,846	1,857.4	・一般会計繰出金 201,616 ・還付金、還付加算金 9,980 ・指定公費 60
	06 予備費	9,542	9,669	△ 127	△ 1.3	
	歳出合計	7,909,000	8,198,000	△ 289,000	△ 3.5	

青果市場事業特別会計

(単位:千円)

区分	款 名 称	令和2年度 予 算 額 A	令和元年度 予 算 額 B	比較		内 容
				金 額 A-B=C	率 C/B %	
歳入	01 使用料及び手数料	10,978	11,718	△ 740	△ 6.3	・青果市場販売手数料 10,978
	02 財産収入	20	20	0	0.0	・財政調整基金預金利子 20
	03 繰入金	7,000	4,260	2,740	64.3	・財政調整基金繰入金 5,000 ・一般会計繰入金 2,000
	04 繰越金	1	1	0	0.0	・前年度繰越金 1
	05 諸収入	1	1	0	0.0	・歳計現金預金利子 1
	歳入合計	18,000	16,000	2,000	12.5	
歳出	01 総務費	17,315	15,280	2,035	13.3	・青果市場事業運営経費 17,315
	02 予備費	685	720	△ 35	△ 4.9	
	歳出合計	18,000	16,000	2,000	12.5	

令和2年度特別会計予算

介護保険事業特別会計

(単位:千円)

区分	款 名 称	令和2年度 予 算 額 A	令和元年度 予 算 額 B	比較		内 容
				金 額 A-B=C	率 C/B %	
歳入	01 保険料	1,046,047	1,378,008	△ 331,961	△ 24.1	・介護保険料(現年度分) 1,041,714
	02 使用料及び手数料	120	140	△ 20	△ 14.3	・督促手数料 120
	03 国庫支出金	1,004,688	934,645	70,043	7.5	・介護給付費負担金 900,004 ・地域支援事業交付金 104,684
	04 支払基金交付金	1,384,829	1,297,817	87,012	6.7	・介護給付費交付金 1,332,995 ・地域支援事業支援交付金 51,834
	05 県支出金	761,671	715,741	45,930	6.4	・介護給付費負担金 704,530 ・地域支援事業交付金 57,141
	06 財産収入	610	230	380	165.2	・介護給付費準備基金預金利子 610
	07 繰入金	1,252,611	759,999	492,612	64.8	・一般会計繰入金 1,252,611
	08 繰越金	1	1	0	0.0	・前年度繰越金 1
	09 諸収入	1,423	4,419	△ 2,996	△ 67.8	・雑入 921 ・延滞金 500
	歳入合計	5,452,000	5,091,000	361,000	7.1	
歳出	01 総務費	143,330	124,802	18,528	14.8	・一般管理費 103,672 ・介護認定審査会費 34,294
	02 保険給付費	4,937,020	4,622,084	314,936	6.8	・介護サービス等諸費 4,509,260 ・介護予防サービス等諸費 96,840 ・高額介護サービス等費 164,540 ・特定入所者介護サービス等費 162,180
	03 地域支援事業費	365,075	338,286	26,789	7.9	・介護予防・生活支援サービス事業 158,935 ・一般介護予防事業 32,927 ・包括的支援事業・任意事業費 172,204
	04 基金積立金	610	230	380	165.2	・準備基金積立金 610
	05 諸支出金	2,357	1,842	515	28.0	・一般会計繰出金 1,057
	06 予備費	3,608	3,756	△ 148	△ 3.9	
	歳出合計	5,452,000	5,091,000	361,000	7.1	

令和2年度特別会計予算

後期高齢者医療事業特別会計

(単位:千円)

区分	款 名 称	令和2年度 予 算 額 A	令和元年度 予 算 額 B	比較		内 容
				金 額 A-B=C	率 C/B %	
歳入	01 後期高齢者医療保険料	931,269	838,386	92,883	11.1	・特別徴収保険料 634,915 ・普通徴収保険料 296,354
	02 使用料及び手数料	193	191	2	1.0	・督促手数料 193
	03 繰入金	931,029	871,591	59,438	6.8	・一般会計繰入金 931,029
	04 繰越金	1	1	0	0.0	・前年度繰越金 1
	05 諸収入	16,508	13,831	2,677	19.4	・健康診査委託料 12,974 ・還付金 1,819
	歳入合計	1,879,000	1,724,000	155,000	9.0	
歳出	01 総務費	34,522	33,303	1,219	3.7	・一般管理費 31,835 ・徴收費 2,687
	02 保険給付費	753,071	704,429	48,642	6.9	・保険給付負担金 720,303 ・保険給付共通経費負担金 32,693
	03 保険事業費	21,110	17,681	3,429	19.4	・健康診査業務 21,110
	04 納付金	1,066,049	964,504	101,545	10.5	・保険料納付金 931,269 ・保険基盤安定納付金 134,190
	05 諸支出金	1,919	1,667	252	15.1	・還付金等 1,919
	06 予備費	2,329	2,416	△ 87	△ 3.6	
	歳出合計	1,879,000	1,724,000	155,000	9.0	

小規模水道事業特別会計

(単位:千円)

区分	款 名 称	令和2年度 予 算 額 A	令和元年度 予 算 額 B	比較		内 容
				金 額 A-B=C	率 C/B %	
歳入	- 財産収入	-	20	△ 20	皆減	
	歳入合計	-	20	△ 20	皆減	
歳出	- 総務費	-	20	△ 20	皆減	
	歳出合計	-	20	△ 20	皆減	

令和2年度企業会計予算

下水道事業会計

(単位:千円)

区分	款 名 称	項 名 称	令和2年度 予 算 額 A	令和元年度 予 算 額 B	比較		内 容
					金 額 A-B=C	率 C/B %	
収益 的收入 及び 支出	下水道事業収益		1,686,556	—	—	—	
		営業収益	923,336	—	—	—	・下水道使用料 876,661 ・雨水処理負担金 46,673 ・その他営業収益 2
		営業外収益	763,220	—	—	—	・受取利息及び配当金 30 ・補助金 28,562 ・他会計負担金 89,087 ・長期前受金戻入 645,511 ・雑収益 30
	下水道事業費用		1,559,504	—	—	—	
		営業費用	1,413,305	—	—	—	・污水管渠費 40,226 ・污水ポンプ場費 74,540 ・流域下水道維持管理費負担金 350,195 ・普及促進費 43 ・業務費 63,546 ・総係費 66,465 ・減価償却費 818,290
		営業外費用	123,445	—	—	—	・支払利息及び企業債取扱諸費 123,445
		特別損失	21,349	—	—	—	・その他特別損失 21,349
		予備費	1,405	—	—	—	
資本 的收入 及び 支出	資本的收入		995,646	—	—	—	
		企業債	324,500	—	—	—	・企業債 324,500
		出資金	107,564	—	—	—	・他会計出資金 107,564
		補助金	284,440	—	—	—	・国庫補助金 284,440
		負担金	279,142	—	—	—	・他会計負担金 271,972 ・受益者負担金 7,170
	資本的支出		1,357,686	—	—	—	
		建設改良費	671,689	—	—	—	・污水管渠費 181,496 ・雨水管渠費 388,610 ・污水ポンプ場費 70,700 ・流域下水道建設事業負担金 30,883
		企業債償還金	685,967	—	—	—	
		基金積立金	30	—	—	—	